

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 〔見込値〕	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R5~R9)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項	
										R5 目標値	最終年度 目標値			
① 外国人相談機能の専門性向上	地域での合同・出張相談会の実施回数 (相談者数) (相談者数については、R4年度まで)		回	30	10 <51>	10 <60>	12 <62>	12	10	12	12	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・専門相談の充実など相談会の質の向上に取り組む	
	外国人情報コーナーの相談件数		件	10	2,312	2,700	2,927	↓2,800	5	2,800	2,800	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・府内在住の外国人住民に対して、在留手続き、雇用、医療、福祉、出産、子育て、教育などの生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供および相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口の運営を引き続き行う	
② 災害時における迅速な情報発信の強化	災害時対応研修・訓練等の実施回数		回	10	3	3	3	4	10	4	5	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・災害時多言語支援センターの設置マニュアル改訂(気象災害の発生を想定) ・気象災害にも焦点をあてた、府内市町村や国際交流協会等との共同研修や訓練、また近畿地域国際化協会連絡協議会等との連携による研修・訓練の実施・参加	
③ 多文化共生の拠点機能の強化・充実	相談員研修の実施回数	☆	回	-	(2)	-	(2)	3	5	3	3	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・国をはじめとした関係機関との連携強化、社会福祉協議会や大阪弁護士会等の地域の関係機関との連携を通じた研修内容の高度化	
	「やさしい日本語」関係研修等の実施回数		回	10	4	4	4	4	10	4	4	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・企業向けの研修の充実を図り、積極的な広報を通じて企業関係者の参加を促す ・他団体の実施するやさしい日本語研修への参加を通じ、財団職員がやさしい日本語に係る知見・能力の向上を図る	
	コミュニティ通訳ボランティア研修の実施回数	☆	回	-	(1)	-	(1)	2	10	2	2	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・社会経済情勢の変化や地域のニーズに応じ、コミュニティ通訳として語学ボランティアが活躍できるよう研修を実施する	
	ホームページアクセス数		件	5	85,410	86,000	×78,186	86,000	5	86,000	120,000	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・ホームページ・SNSを通じ、平時から気象災害を含む防災情報を発信 ・ホームページ上の「よくある生活質問集」の記載内容の充実化 ・令和6年度のホームページリニューアルに向け、開発に取り組む	
	国際理解教育外国人サポーター派遣校数		校	10	29	35	67	-	-	-	-	-	-	-
	災害時通訳・翻訳ボランティア新規登録者数		名	10	41	35	101	-	-	-	-	-	-	-

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 財政基盤の強化	実質収支差額(評価損益等調整前経常増減額より、特定資産取崩額を除く)	☆	百万円	-	(▲57)	-	(〔▲46〕)	▲42	10	▲42	▲32	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・多文化共生に関心の高い企業をターゲットとした事業を推進し、賛助会員への入会や寄附を得られるよう努める ・助成事業の事例研究や情報収集を行い、助成事業の採択を得られるよう努める ・基本財産を維持しつつ、金利動向を見ながら、より有利で安全な資産運用に努める
	留学生会館入居率(年平均)	☆	%	-	(67.7)	-	(82.0)	85.0	5	85.0	85.0	中期経営計画(R5~R9)の目標に基づく	・大阪府堺留学生会館オリオン寮を管理・運営していくとともに、収入の増加を図る ・施設は当面維持し、必要最低限の維持補修や備品の更新を実施する
	管理費		千円	5	14,411	19,101	[16,000]	-	-	-	-	-	-
	収入確保策		千円	10	6,666	9,000	×[5,483]	-	-	-	-	-	-

【凡例】
 ・☆はR5年度からの新規項目
 ・×は目標値未達成
 ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
 ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
 ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値